

## 7-4 てんかん診療体制整備事業 神奈川県からの報告

### 1. 神奈川県てんかん治療医療連携協議会・事務連絡会議

### 2. 神奈川県てんかん治療医療連携協議会・議長

宮本雄策<sup>1</sup> 山野光彦<sup>1</sup> 原 恵子<sup>1</sup> 岩崎俊之<sup>1</sup> 太組一朗<sup>1,2</sup>

#### 1. 神奈川県の現状と問題

907万人という大人口を抱えているにもかかわらず、県内に包括的なてんかんセンターがなく、多施設の連携による体制であり、また、人口に比して専門医が少ない、という特徴がある。したがって、神奈川県は、包括的なてんかんセンターを圏内に有しない多くの地域のモデルになり得るものである。

いかにして県内のてんかん医療の均てん化を図るかが課題である。

専門医は、小児科18名、神経内科2名、精神科3名、脳外科3名であり、偏りが大きい。

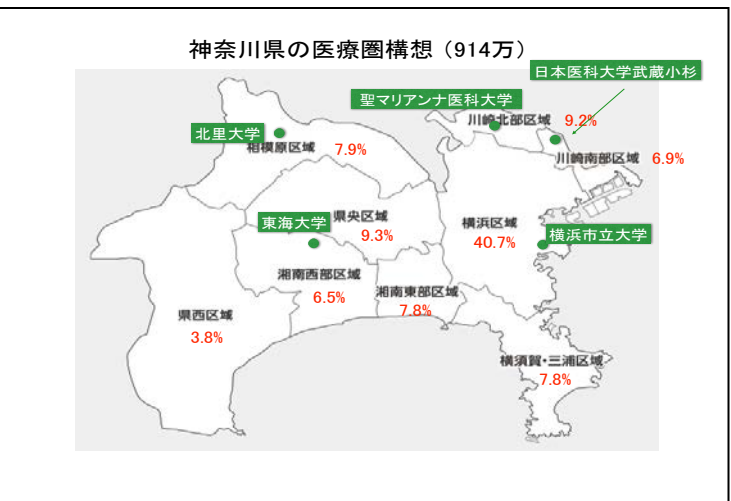
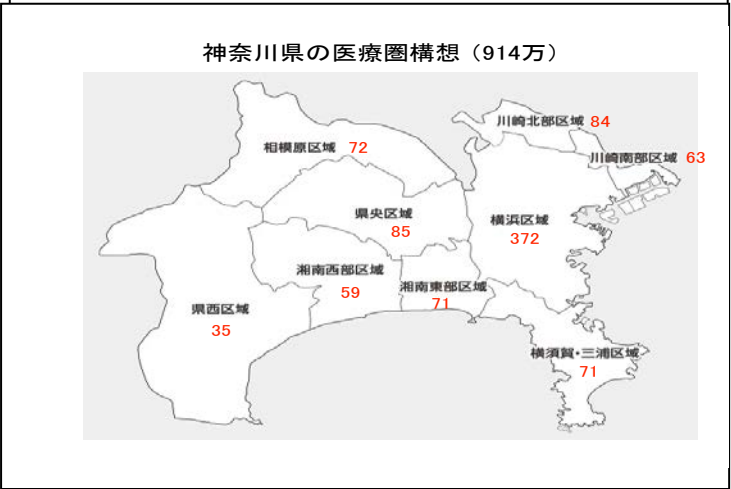
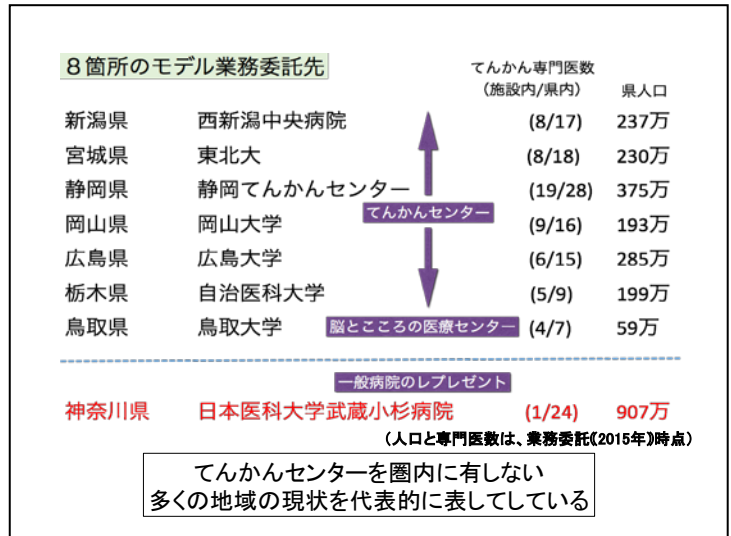
地勢的には東京・静岡と地続きであり、患者は両都県に流れる。

#### 2. 神奈川県てんかん治療医療連携協議会

医療、行政、患者代表より成り、必要な医療を必要とされている患者さんに届ける、受診先を明らかにして、てんかん難民を作らないことを目標にしている、

#### 3. 拠点機関（日本医科大学武蔵小杉病院）の診療指標の推移

2013年6月から2016年12月までの拠点機関である日本医科大学武蔵小杉病院のてんかんの新患は336例で、県内が187例であるが、東京、千葉はじめ県外も149例（44%）と多かった。県内では、拠点機関の周囲の川崎市南部、北部、横浜市北部、南部、西部の医療圏の患者が多く、



神奈川県てんかん治療医療連携協議会

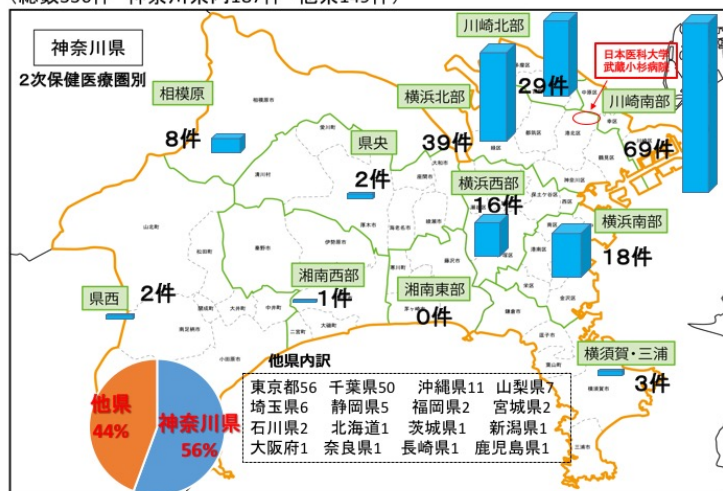
所属	職立	氏名
日本医科大学(拠点機関)	脳神経科講師	太組 朗(議長)
神奈川県立こども医療センター	総長	山下純正
横浜市立大学	神経科主任教授	田中章景
聖マリアンナ医科大学	小児科主任教授	山本 仁
神奈川県立こども医療センター	神経科部長	後藤 英
横浜教育医療福祉センター港南	センター長	根 善夫
原クリニック	精神科医師	原 恵子
川崎市立多摩病院	小児科部長	宮本雄策
北里大学	小児科准教授	岩崎俊之
東海大学	神経科講師	山野光彦
日本医科大学(拠点機関)	精神科教授	岸泰宏
日本医科大学(拠点機関)	小児科准教授	川上康彦
神奈川県	がん・疾病対策課長	
川崎市精神保健福祉センター	センター長	
川崎市健康福祉局障害保健福祉部(※保健所委員を兼ねる)	精神保健課長	
横浜市健康福祉局障害福祉部	障害企画課長	
相模原市健康福祉局福祉部	精神保健課長	
日本てんかん協会神奈川県支部代表	当事者(てんかん患者)	
日本てんかん協会神奈川県支部代表	当事者(てんかん家族)	

他の医療圏からの紹介は少なかつた。

紹介元の内訳は、病院70%、診療所24%、てんかん専門医5%、その他1%であり、3次⇒2次⇒1次の流れだけではなく一次診療施設からの流れが24%あった。

2013年6月から2016年12月までの拠点機関である日本医科大学武蔵小杉病院のてんかんの新患は336例で、県内が187例であるが、東京、千葉はじめ県外も149例

日本医科大学武蔵小杉病院てんかん患者  
神奈川県内紹介元分布 2013年6月～2016年12月  
(総数336件 神奈川県内187件 他県149件)



拠点病院制度を充実させるための県内均てん化が課題

(44%)と多かった。県内では、拠点機関の周囲の川崎市南部、北部、横浜市北部、軟部、西部の医療圏の患者が多く、多の医療圏からの紹介は少なかった。

紹介元の内訳は、病院 70%、診療所 24%、てんかん専門医 5%、その他 1%であり、3次⇔2次⇔1次の流れだけではなく一次診療施設からの流れが 24%あった。2015年11月にてんかん診療拠点病院として指定を受け、拠点病院宛のてんかんの紹介状は増加している(2014年70件、2016年125件。しかし、県内紹介件数は拠点施設に近いところが多く、県内でも県央・県西・湘南・三浦からは少ない。

### これまでの啓発活動

**日本医科大学武蔵小杉病院  
てんかん治療 医療連携研修会**

参加無料  
申込不要

開催日時:平成28年3月21日(月・祝)13:00~15:00  
内容:「発作観察とてんかん看護について」  
講師:看護師 原 稔枝 先生  
独立行政法人国立病院機構  
静岡てんかん・神経医療センター

**公開講座のご案内**

入場無料  
申込不要

時間 14:00~15:00(開場13:30)  
\*3月21日(月・祝日)は15:00~17:00  
場所 日本医科大学武蔵小杉病院  
南館3階 講堂

**てんかんの研修会・公開講座**

開催日時:平成28年12月11日(日)  
場所: 神奈川県民ホール大会議室

参加無料

開会のご挨拶 13:00-  
神奈川県てんかん治療医療連携協議会 理事 太祖一朗

1. てんかん治療研修会 13:05-  
「抗てんかん薬の考え方・使い方」  
日本医科大学千葉北総病院 薬劑部 浦 裕之

ご挨拶 14:15-  
神奈川県保健福祉局保健医療部 がん・疾病対策課 佐々木つぐ巳

2. てんかん治療市民公開講座 14:20-  
第一部 川崎市長 川崎市立多摩病院 小児科部長 宮本雄雄  
「小児てんかんの診断と治療」  
横浜医療福祉センター-湘南 センター長 根津 敬夫

第二部 東海大学神経内科講師  
「成人のてんかん」  
市ヶ尾が江川病院 神経内科 中野 仁

閉会のご挨拶 16:20-  
日本大学小児科准教授 岩崎俊之

開催日時:平成29年3月26日(日)13時  
場所: 神奈川県総合医療会館 7階大講堂

参加無料  
申込不要

### てんかんの研修会・公開講座

1. てんかん治療研修会  
(医療従事者向けですが、どなたでもご参加いただけます)  
内容:「てんかん地域診療連携体制整備の実践と課題」  
~てんかんセンターのない県からの発信~  
時間:13:00~14:00  
講師:鳥取県てんかん診療医療連携協議会 委員長  
鳥取大学医学部保健学科 教授 吉岡 伸一

2. てんかん治療市民公開講座  
内容:「だれでもわかる!小児てんかんの診断と治療」  
時間:14:15~15:15  
講師:神奈川県立こども医療センター神経内科 部長  
後藤 知英

内容:「成人・高齢者のてんかん  
-てんかんをより正しく理解するために-」  
時間:15:15~16:15  
講師:東海大学医学部内科学系神経内科学 講師  
山野 光彦

神奈川県総合医療会館 7階大講堂  
横浜市中央区土芝3-1  
【交通】  
-JR東横線地下鉄ブルーライン伊勢川木長駅南口下車  
徒歩10分  
-JR東横線新川町駅下車 徒歩10分  
-JR東横線新川町駅下車 徒歩10分  
-JR東横線新川町駅下車 徒歩10分

主催 神奈川県てんかん治療医療連携協議会  
問合せ 日本医科大学武蔵小杉病院てんかん拠点病院  
〒211-8503 川崎市武蔵小杉区大杉町1-100  
TEL:044-752-5141(内線905) 直通2号  
月・水・金 9:00~18:00  
http://kenkan.jp/mw.asp

## 5. てんかん診療拠点病院事業

神奈川県事業としての事業内容は以下のことを行っている。1) 相談業務:専任コーディネーターの選定、2) 患者受け入れ、3) 保健所との情報共有、4) 協議会設置、5) 教育・啓発活動

## 6. 研修・公開講座

これまでに3回行っている

## 7. 啓発事業

Purple Dayに「てんかんパープルデーライトアッププロジェクト in 神奈川」を行い3月24~26日あるいは26日のみ、6つの有名観光施設を紫色にライトアップする企画を行う。

## 8. 神奈川県における課題

1. 相談業務を早く始めたい↔ 相談員の研修。相談業務を行い、適切な医療機関を紹介できるように
2. 県内受診先リストを作成したいが、効果的な方策を検討中である
3. 県民の数が他県と比べて圧倒的に多い
4. 県内てんかん医療の均てん化
5. 三浦横須賀、など、てんかん過疎地域をどうするか
6. 保健所は業務量が多く実際には手が回らないが、情報を共有したい